

## 5. 四日市港の将来像

### 5-1. 四日市港の将来方向

以上に整理した課題・要請等をもとに、四日市港の長期構想を考える上では、「産業・物流への貢献」、「都市・住民への貢献」、「環境への貢献」という3つの方向性を念頭に置きます。



図 5.1 四日市港の将来像の検討フロー

さらに、これら3つの方向で四日市港の将来を考える際には、「多様な主体との連携」や「今後の要請に合致した港湾計画の作成」というソフト面の対応についても、十分踏まえることが重要であると考えます。

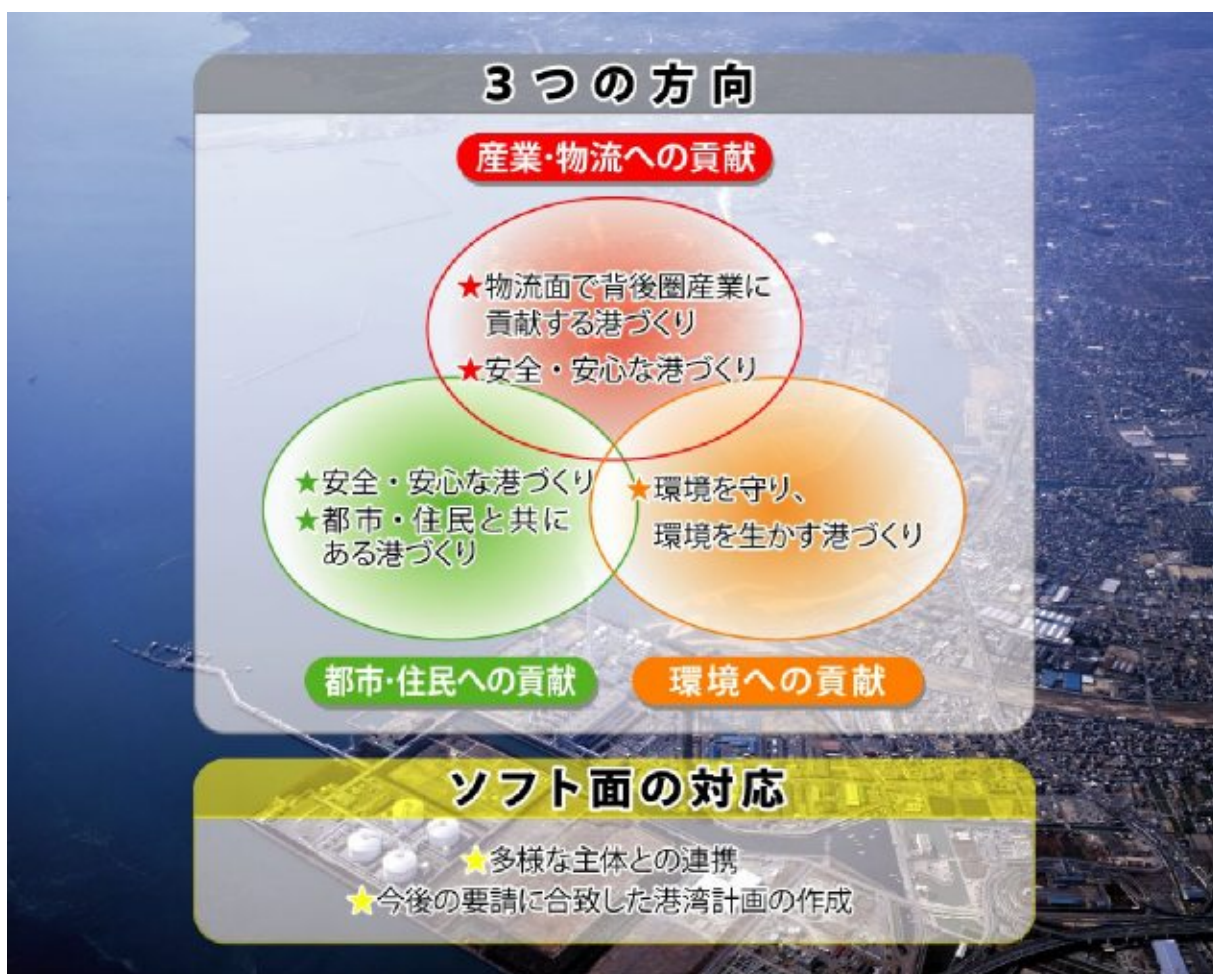


図 5.2 四日市港の将来像を考える方向

## 5-2 四日市港の将来像

四日市港は、四日市市と川越町という二つの都市の前面に位置しています。港の背後には、これら都市住民の生活があり、港を経由した物資はこの二つの都市にとどまらず、三重県全体やさらに広域の地域を行き交い、それによって産業活動も活発に行われています。

また、港には、海、干潟、砂浜、樹木などの自然があり、いろいろな生物が息づき、多様な植物が存在しています。そして、そのような環境に憩いを求めて多くの人々が港を訪れています。

四日市港が、しっかりその役目を果たし、多くの人たちから地域にとって欠かせない重要な存在であると評価されるためには、「産業・物流への貢献」、「都市・住民への貢献」、「環境への貢献」という3つの方向からその将来像を考えることが不可欠です。

とりわけ、産業・物流への貢献という観点では、近年の経済活動等の広域化に伴い、広域的な対応が必要な課題も増加していることなどから、伊勢湾全体としての課題解決を念頭に置きつつ、四日市港のコアコンピタンスを最大限に生かした四日市港の将来像を描く必要があります。

このようなことも踏まえ、3つの方向別に、概ね20年後の四日市港の姿として、どのような姿を目指し、何を実現したいかを考え、それに合致する3つの将来像を考えました。

### 【将来像1】

## 背後圏産業の発展を支える四日市港の実現



### 【将来像2】

## 都市・住民とともにある四日市港の実現



### 【将来像3】

## 環境にやさしい四日市港の実現



### 5-3. 四日市港の取組

四日市港では、3つの将来像について、それぞれ実現したい四日市港の姿（案）と取組（案）を考えました。

#### 将来像 1 背後圏産業の発展を支える四日市港の実現

これまで整理した「エネルギー資源取扱機能の集積」、「背後における知識集約化の進んだ産業集積」という四日市港のコアコンピタンスは、現時点におけるエネルギー関連企業の集積状況や、背後産業が持続的に発展可能な産業構造であることを踏まえると、将来にわたり続いていくものと考えられます。

このコアコンピタンスを今後とも最大限に生かしつつ、関係企業のニーズにきめ細かに対応できる港づくりを進めます。

#### 実現したい四日市港の姿（案）

##### ① 多くの荷主企業から頼りにされている四日市港

→ 四日市港は、背後圏の荷主企業の最寄り港として、また、スーパー中樞港湾として、三重県を中心とする背後圏産業を物流面から支え、さらに伊勢湾を代表するエネルギー供給基地として、背後圏産業の一層の発展に貢献している。

##### ② 安全・安心な物流機能が確保されている四日市港

→ 港湾機能や港湾施設が平常時から計画的かつ適切な維持管理が行われ、大規模地震等の自然災害やテロ等が発生した場合でも物流機能が確保される。

#### 取組（案）1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

スーパー中樞港湾としての機能の充実・強化

アジア域内物流への対応

バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化

企業ニーズに対応した港湾サービスの提供

背後圏産業の活性化に対する支援

#### 取組（案）1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

港湾施設の計画的な維持管理

港湾のセキュリティ強化と保安の確保

船舶航行安全の確保

災害時における物流機能の確保

## 取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

### スーパー中樞港湾としての機能の充実・強化

- 背後圏産業の競争力を支えるため、既定計画に位置付けがある霞ヶ浦地区北ふ頭コンテナターミナルの整備を推進するなど、港湾の施設水準を向上させるとともに、コンテナターミナルの高度化・高質化を図り、スピーディでシームレスかつ低廉な港湾物流を実現する。
- 臨港道路霞4号線の整備促進や南方面への道路を検討するなど、臨港交通体系の充実を図ると共に、背後の道路網整備※を促進し、四日市港と背後圏とのアクセス向上を実現する。
- 背後圏産業の荷主ニーズに対応し、基幹航路を始めとする多方面航路の維持・拡充を図り、港湾サービス水準を向上させる。
- 中部圏のものづくり産業を支える物流拠点として、名古屋港・中部国際空港との連携を強化し、伊勢湾全体の物流機能の向上に貢献する。



～現行港湾計画における  
霞ヶ浦地区北埠頭完成イメージ図～



～現行港湾計画における  
霞4号幹線完成イメージ写真～

※整備促進が必要な背後道路の例

新名神高速道路、東海環状自動車道、国道1号北勢バイパス、国道23号中勢バイパスなど

- (keyword)
- ✓ 中部圏ものづくり産業の集積、背後圏産業の物流拠点
  - ✓ 四日市港のスーパー中樞港湾としての機能確保
  - ✓ 伊勢湾としての港湾機能確保の要請の高まり

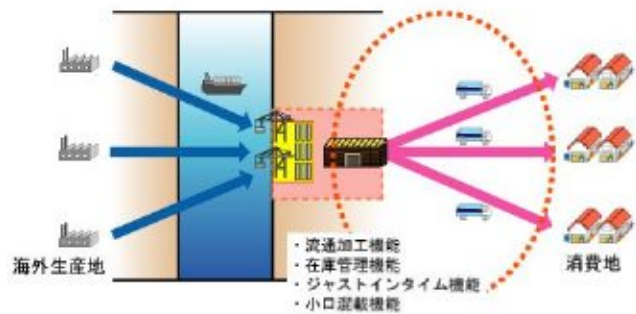
## 取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

### アジア域内物流への対応

- 今後も増大が予想されるアジア域内物流に対応し、四日市港の地理的特性を活かした、高速、低コスト、多頻度、高品質のサービスを提供する。
- アジアの地域間連携の進展に伴い今後とも背後圏の中小企業にいたるまで交易が活発となることが予想されることから、港湾空間における流通加工・在庫管理・ジャストインタイム・小口混載等に対応したロジスティクス機能の強化を促進する。



～湾口に近い四日市港の地理的ポテンシャル～



～港湾空間におけるロジスティクス機能のイメージ

- (keyword)
- ✓ 背後圏と東アジアの交易拡大による物流量の増加
  - ✓ 国際分業の進展に伴う中間材の流動増

## 取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

### バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化

- 臨海部産業の物流の効率化に伴って大型化するバルク船やタンカー・LNG船に対応し、既存施設の改良や港湾施設を整備するなど、港湾機能の拡充を図り、効率的な産業物流の実現を図る。



～霞ヶ浦南埠頭2・23号岸壁で荷役中のバルク船～



～中部電力川越火力発電所棧橋に係留しているLNG船～

- (keyword)
- ✓ バルクキャリアの大型化
  - ✓ バルク貨物拠点整備の要請の高まり

## 取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

### 企業ニーズに対応した港湾サービスの提供

- 背後圏の荷主企業や物流事業者においては、地球環境問題に対応した環境に優しい物流システムの構築が必要であり、内航海運の活用や地理的特性をいかしたシー&レールに代表される鉄道の活用など、グリーン物流を促進する。



～内航自動車船～



～鉄道に近接する  
四日市港～

- 企業ニーズに対応した物流機能を構築するため、品目による施設利用の集約等、施設の改良と施設利用の再編を進める。



～霞ヶ浦南埠頭に接岸する  
バルク船、自動車船、コンテナ船～

(keyword)

- ✓ 港湾施設の利便性向上の必要性
- ✓ 多様化する物流ニーズへの対応
- ✓ 鉄道が港の近くを通っている



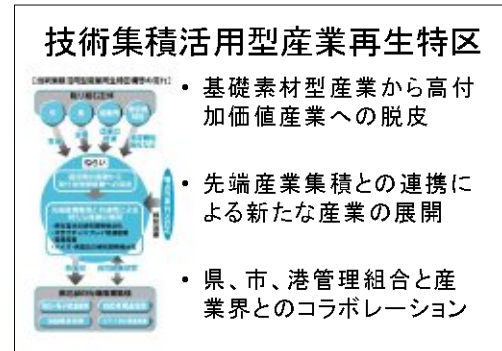
## 取組(案)1-① 物流面で背後圏産業の発展に貢献する港づくり

### 背後圏産業の活性化に対する支援

- 四日市コンビナートの高度化への取組を支援していく。



～四日市コンビナート～



～技術集積活用型産業再生特区の取組～

- 現在、埋立中の石原地区は、将来的には、背後圏企業の成長を支援するための産業空間として活用していく。



～石原地区～

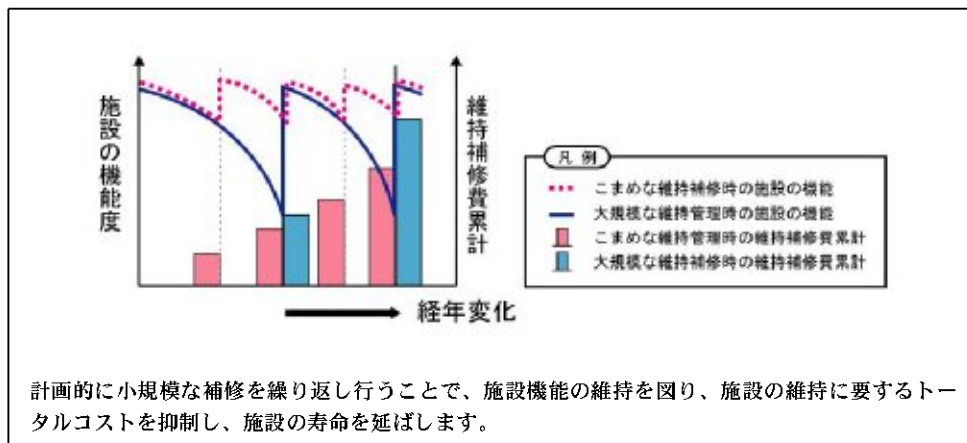
(keyword)

- ✓ 四日市コンビナート高度化の動き
- ✓ 石原地区における新たな土地の形成
- ✓ 背後圏企業の活性化への支援

## 取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

### 港湾施設の計画的な維持管理

- 老朽化した施設の確実な更新を進めると共に、今後順次発生するであろう施設の劣化に伴うサービス水準の低下と、更新に伴う財政負担の急激な増加を回避するため、アセットマネジメントの概念を取り入れ、計画的・効率的な維持・修繕を実施するとともに、計画段階から維持管理に配慮した設計に取り組む。



～アセットマネジメントのイメージ～

- (keyword)
- ✓ 老朽化する港湾施設の増大
  - ✓ 港湾施設の機能性・安全性の確保
  - ✓ 施設の長寿命化の必要性
  - ✓ 維持管理費の縮減

## 取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

### 港湾のセキュリティ強化と保安の確保

- 国際船舶・港湾保安法に基づき、テロ等に対応した港のセキュリティの確保に努めるとともに、不法投棄や車両放置、不法入国等の犯罪に対して、警察や海上保安庁等と連携したパトロール、取り締まり等により、港の保安確保に努める。



～SOLAS条約によるフェンス～



～監視カメラ～

(keyword)

✓ 港湾における防災対策・保安対策の要請の高まり

## 取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

### 船舶航行安全の確保

- 船舶の大型化に対応した整備の推進とポトラジオ等による入出港情報の提供等を行い、航行安全の確保に努める。
- 船舶の安全な航行を確保するため、航路・泊地等における水深の確保や漂流物の除去を行う。
- プレジャーボート等の小型船舶を適正に配置させるなど、港内の航行安全確保に努める。



～船舶情報管理室～



～ハーバーインフォメーションシステム～  
(HIS)



～行き交うコンテナ船～

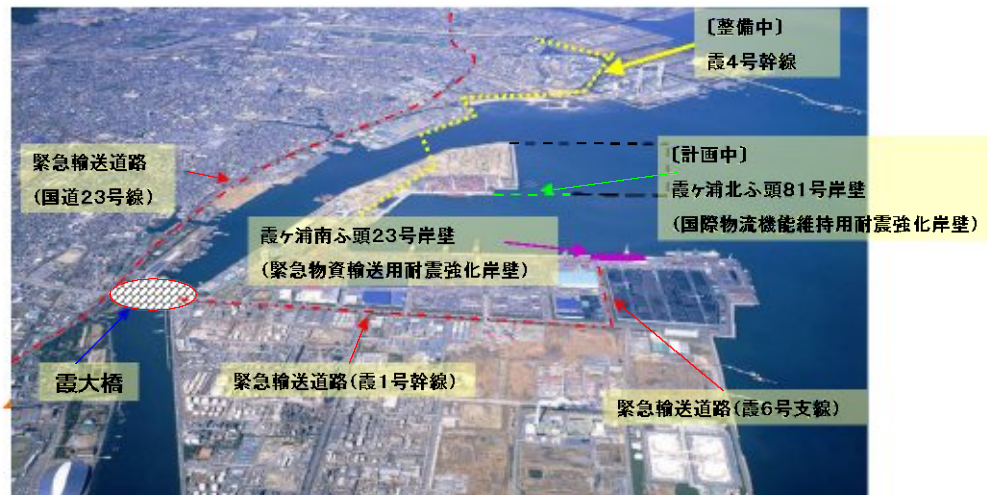
(keyword)

- ✓ 安全な航行体系の確保
- ✓ 小型船舶の適正収容の必要性

## 取組(案)1-② 物流の安全・安心を支える港づくり

### 災害時における物流機能の確保

- 災害発生時においても、物流機能を維持するために、既定計画において位置づけのある 81号耐震強化岸壁や四日市地区の耐震強化岸壁の整備を推進し、背後圏の経済活動を支える。
- 中部圏のものづくり産業を支える物流拠点として、災害時の伊勢湾の国際物流機能を維持するため、名古屋港との補完体制を拡充していく。
- 霞ヶ浦地区のリダンダンシーを確保するため、霞4号幹線の整備を進める。



～防災対策推進の方向性～

(keyword)

- ✓ 霞ヶ浦地区南埠頭で緊急物資輸送用耐震強化岸壁を整備済み
- ✓ 国際物流機能維持用岸壁(W81)は、未整備
- ✓ 四日市地区の耐震強化岸壁は、未整備
- ✓ 港湾における防災対策・保安対策の要請の高まり
- ✓ 伊勢湾としての物流機能確保の必要性

## 将来像2 都市・住民とともにある四日市港の実現

四日市港は、住民のアメニティ豊かな暮らしに貢献する施策を積極的に実施していくことにより、広く住民に愛され親しまれる港の実現を目指します。また、暮らしの安全・安心を守るため、必要な防災対策等を進めます。

### 実現したい四日市港の姿(案)

#### ① 住民の暮らしを守る、頼もしい四日市港

→ 四日市港は、地震・津波・高潮などの自然災害から、人々の暮らしを守っている。

#### ② みなと文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる、四日市港

→ 四日市港は、人々が安全かつ気軽に立ち寄れて、憩い、楽しめる、身近な存在となっている。

#### ③ 都市と共に活性化し、住民が元気になる四日市港

→ 四日市港で、都市的な活動が、参画と協働により、広く展開されている。

### 取組(案)2-① 暮らしの安全・安心を守る港づくり

防災対策の推進

災害復興活動への支援

治安対策の推進

### 取組(案)2-② みなとの文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる港づくり

人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進

地域への情報発信、情報共有の促進

### 取組(案)2-③ まちづくりと一体となった港づくり

四日市市と連携した「みなとまちづくり」の推進

参画と協働による「みなとまちづくり」の推進

## 取組(案)2-① 暮らしの安全・安心を守る港づくり

### 防災対策の推進

- 地震や高潮から背後地を守るため、海岸保全施設の機能拡充を図る。
- 東南海・南海地震等の地震発生時の津波に対して、背後市町や住民・企業と協働し、防潮扉の閉鎖を行い人命・財産を守るとともに、避難訓練を実施することで災害発生時における迅速な対応が図れるようにする。
- 港湾利用者や港湾来訪者に対する津波情報伝達システムの構築、注意喚起看板の設置、高台・建物等の緊急避難場所の確保、水門等の遠隔操作等の導入などを進める。
- 海上保安庁などの国の機関や、県、市の関係機関と連携し、防災対策を推進する。



～防潮扉の閉鎖に関する説明風景～

- (keyword)
- ✓ 伊勢湾台風等高潮被害の経験、高潮災害の危険性
  - ✓ 地震・津波災害の切迫性
  - ✓ 港湾における防災対策・保安対策の要請の高まり

### 災害復興活動への支援

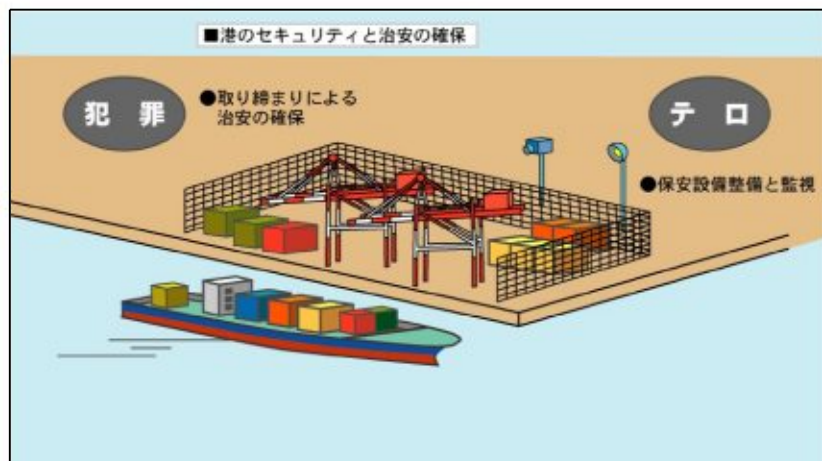
- 市街地に近い四日市地区で緊急物資輸送用岸壁等の防災拠点を整備し、また、霞ヶ浦地区においては、霞 4 号幹線や耐震強化岸壁の整備推進することにより、緊急時の物資輸送の確保や、災害時の復興活動を支える。
- 災害時には、復興活動に資するため港湾空間を有効に利活用し、復興活動を支える。
- 海上保安庁などの国の機関や、県、市の関係機関と連携し、復興活動を支える。

- (keyword)
- ✓ 四日市地区の耐震強化岸壁は、未整備
  - ✓ 地震災害の切迫性

## 取組(案)2-① 暮らしの安全・安心を守る港づくり

### 治安対策の推進

- 国際船舶・港湾保安法に基づき、テロ等に対応した港のセキュリティの確保に努めるとともに、不法投棄や車両放置、不法入国等の犯罪に対して、警察や海上保安庁等と連携したパトロール、取り締まり等により、治安の維持に努める。
- 照明設備等の増設や住民・企業等のコラボレーションにより、みなとの中の防犯対策に取り組む。



～港のセキュリティと治安確保のイメージ～



～テロ対策合同訓練～

(keyword)

✓ テロ防止など、港湾における治安・保安対策の必要性、高まり



## 取組(案)2-② みなとの文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる港づくり

### 人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進

- 既存緑地の質を高めたり、新しい緑地を整備するなど、アメニティ機能の充実を図る。
- 朝明地区から霞ヶ浦地区にかけて点在する緑地などの親水空間をネットワーク化することにより、魅力を向上させ、人々に親しまれる港づくりを推進する。
- 人々がみなとへ安全かつ快適に行き来できるように、アプローチの改善に向けた取組を推進する。



～朝明地区～



～ポートビルとシドニー港公園～



～富田地区と富双緑地を結ぶ歩道橋～



～千歳地区プロムナード～

(keyword) ✓ 憩いの場、親しみの場としての港湾空間の必要性

## 取組(案)2-② みなとの文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる港づくり

### 地域への情報発信、情報共有の促進

- 「四日市港まつり」などのイベントやホームページ、定期刊行物の「四日市港ニュース」、各種パンフレットを活用し、人々と港の触れ合いの機会を創出し、親しまれる港づくりを推進する。また、これら活動を通じて、地域と情報共有し、連携を強化していく。

- 千歳運河周辺には、重要文化財に指定されている「末広橋梁」、更には「潮吹き防波堤」など、レトロな風景が広がっている。このような景観の持つ価値を積極的に意味づけ、活用しながら、一層価値を高めていく。



- 四日市港の歴史や文化、港そのものの役割・機能について、理解を深めるための機会を提供していくなど産業観光に取り組む。



- 石油化学コンビナートの夜景や港湾活動など、すばらしい景観資源を有効活用し、四日市港の持つ魅力を広く発信する。



- (keyword)
- ✓ 重要文化財、コンビナートなど、景観資源の存在
  - ✓ 港湾景観の価値の高まり

## 取組(案)2-③ まちづくりと一体となった港づくり

### 四日市市と連携した「みなとまちづくり」の推進

- 四日市地区では、四日市市が進めようとしているJR四日市駅から旧港・千歳地区にいたる地域での「港を活かしたまちづくり」と連携した、「みなとまちづくり」を進める。

### 参画と協働による「みなとまちづくり」の推進

- 行政、住民、NPOなどの市民団体、企業など多様な主体との協働により、港の資源を活かしたまちづくりを実現する。
- 港湾空間における遊休施設などを、市民活動の場として提供していく。



～多様な主体との連携のイメージ

(keyword)

- ✓ みなとにおける「まちづくり」の要請
- ✓ 港湾空間内における遊休施設の存在

### 将来像3 環境にやさしい四日市港の実現

四日市港は、残された自然環境や貴重な港湾景観を積極的に保全し、また、近年著しく顕在化してきた地球環境問題への対応に積極的に取り組むことにより、環境と共生した、環境にやさしい港の実現をめざします。

#### 実現したい四日市港の姿(案)

##### ① 自然とふれあえる四日市港

→“ひと”や“いきもの”にやさしいみなどを目指して、港湾環境の改善を進め、残された貴重な自然環境の保全している。

##### ② 美しく、魅力ある四日市港

→四日市港に残る貴重な景観を保全するとともに、周囲と調和した色彩計画が進められている。

##### ③ 地球にやさしい四日市港

→“地球”にやさしいみなどを目指して、地球温暖化に対応するため CO<sub>2</sub> 削減への取組を推進し、循環型社会形成に貢献するため静脈物流を推進している。

#### 取組(案)3-① 自然とふれあえる港づくり

自然海浜・干潟の保全

伊勢湾再生に貢献する海域環境の改善

#### 取組(案)3-② 美しく、魅力ある港づくり

良好な港湾空間の保全・創出

#### 取組(案)3-③ 地球にやさしい港づくり

地球環境問題(CO<sub>2</sub>等削減)への対応

循環型社会への貢献

## 取組(案)3-① 自然とふれあえる港づくり

### 自然海浜・干潟の保全

- 楠・磯津地区に残る自然海浜、朝明地区の自然干潟等、貴重な自然を次世代に継承すべく保全する。
- 干潟や浅場、砂浜等、多様な生物生息空間を確保するとともに、野鳥が飛来し、人も憩える緑地を整備するなど、海域部と陸域部が連携した複合的な自然環境の創造に取り組む。
- このような取組を進めるにあたっては、産官学の連携のもと実証実験やモニタリング等を実施し、効果的な施策展開を図る。



朝明地区（高松海岸）



楠・磯津地区（吉崎海岸）

- (keyword)
- ✓ 朝明地区、楠・磯津地区に残された自然海浜
  - ✓ 自然環境再生・創造の需要の高まり

## 取組(案)3-① 自然とふれあえる港づくり

### 伊勢湾再生に貢献する海域環境の改善

- 港湾環境の改善に向け、汚泥の浚渫除去や藻場(コンブ、アマモ等)の再生などによる水質改善・底質改善の取組を進める。
- 海域環境の現状や改善のための取組を広く周知するなど啓発活動に努め、多様な主体の各種取組への参画意欲の醸成を図る。
- 清掃船による浮遊ゴミ等の回収を進めるとともに、美化運動についてボランティアなど多様な主体との連携を図る。



清掃船の活動状況



県と市民によるアマモの種まき実験  
(「海蔵川探検隊・うみくら」HPより)



啓発活動(環境学習)の状況



コンブによる水質浄化実験  
(国土交通省四日市港湾事務所)

- (keyword)
- ✓ 自然環境再生・創造の需要の高まり
  - ✓ 環境問題への関心の高まり

## 取組(案)3-② 美しく、魅力ある港づくり

### 良好な港湾空間の保全・創出

- 四日市港に今も残る歴史的遺産や文化遺産、ならびに貴重な港湾景観を次世代に継承すべく保全する。
- 港湾における良好な景観づくりのために、周囲と調和した色彩計画を推進する。
- 公園、緑地等における清掃活動においては、ボランティアなど多様な主体との連携を図る。



旧港西防波堤（右）と潮吹き防波堤（奥）



末広橋梁

～四日市港にある重要文化財～



四日市港国際物流センター



四日市コンテナ検査センター

～色彩に配慮した事例～

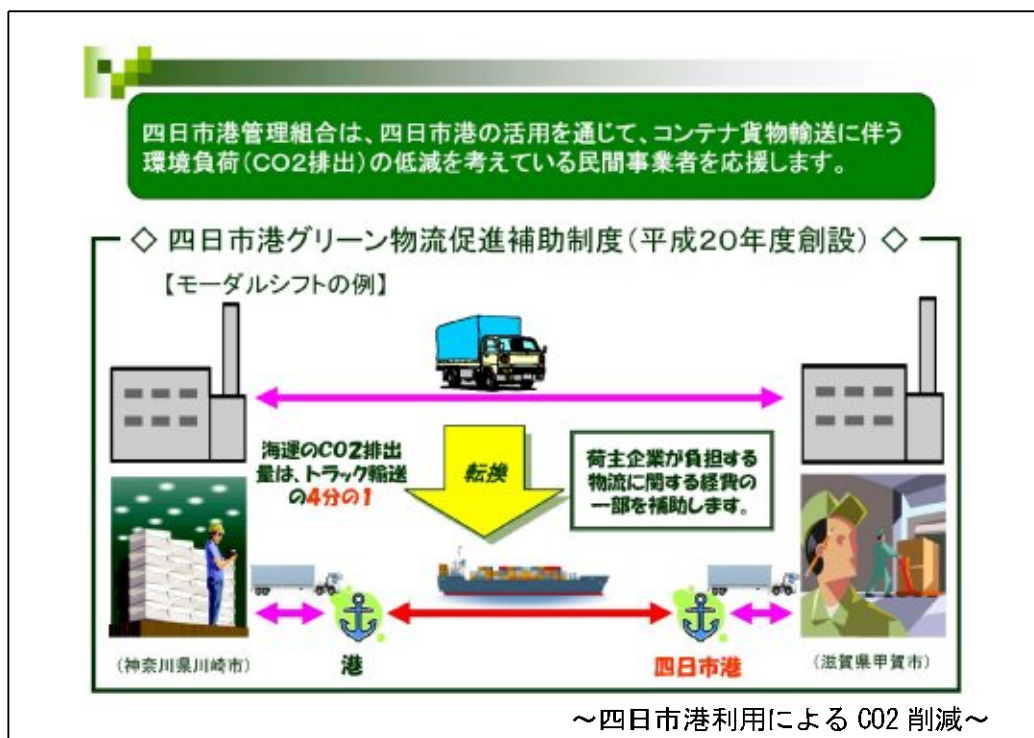
(keyword)

- ✓ 自然環境再生・創造の需要の高まり
- ✓ 現有資産を活かしたみなとまちづくりの需要の高まり

## 取組(案)3-③ 地球にやさしい港づくり

### 地球環境問題(CO<sub>2</sub>等削減)への対応

- CO<sub>2</sub> 削減を荷主企業の強いニーズと捉え、四日市港においてインセンティブの導入や港湾機能の向上等に取り組むなど、グリーン物流を促進する。
- グリーン物流の一環として、四日市港を積極的に利用することがCO<sub>2</sub>削減に大きく貢献できる手段であることを広くアピールする。
- 荷役作業などの港湾活動に伴い発生するCO<sub>2</sub>等の削減を進める。
- 周辺道路の渋滞解消に努め、大気環境の改善や騒音・振動への対応を進める。



(keyword)

- ✓ 鉄道と四日市港の近接した位置関係
- ✓ 物流におけるCO<sub>2</sub>削減の取組
- ✓ 道路ネットワークの充実・新名神の開通(広がる背後圏)



## 取組(案)3-③ 地球にやさしい港づくり

### 循環型社会への貢献

- 循環(リサイクル)資源の取扱機能・能力の向上を図り、静脈物流への取組を推進する。
- 石原地区における将来的なリサイクル産業等の立地可能性の検討を進める。



循環資源（金属くず）の取扱

- (keyword)
- ✓ 静脈物流需要の高まり
  - ✓ 石原地区の土地利用

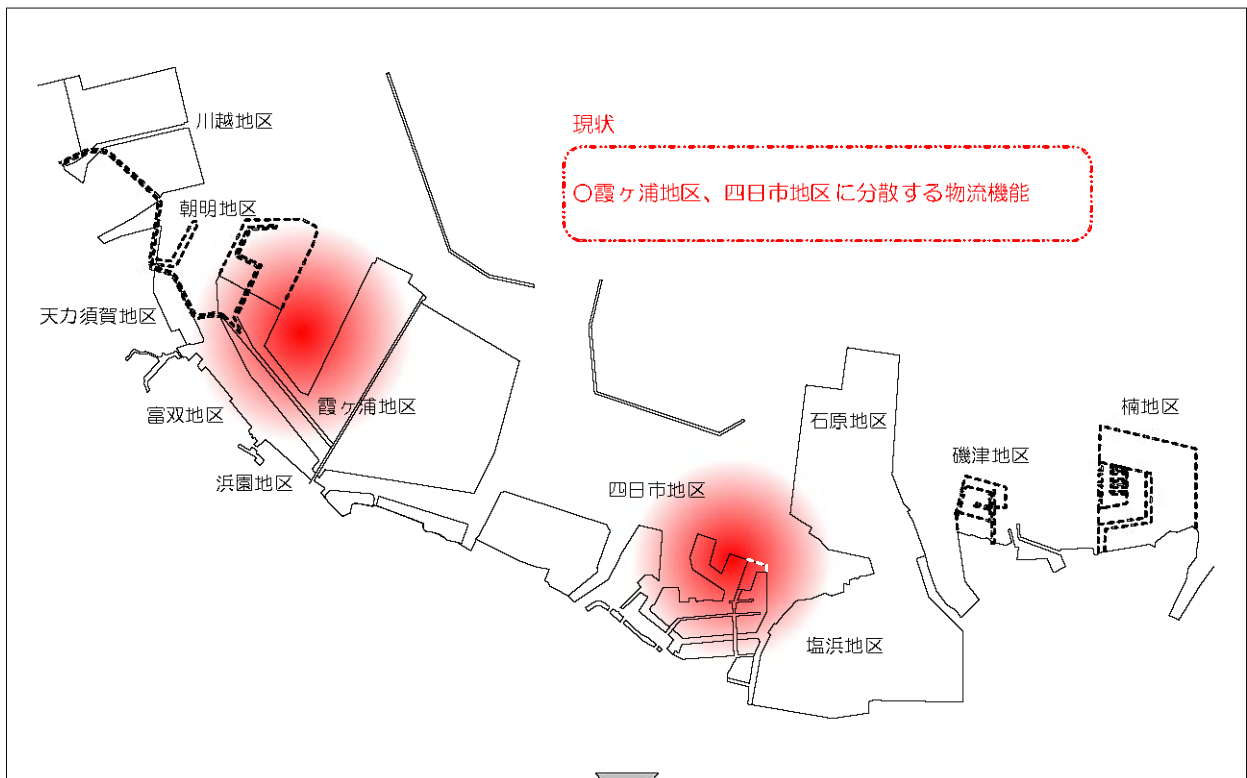
#### 5-4. 空間利用ゾーニング

これまで整理した四日市港の将来像を実現するための取組は、港湾空間を中心とし、内陸部とも密接な関わりを持ちながら展開されていくこととなります。また、それらの取組は、互いに関連し、バランスを取りながら総合的に進めていく必要があります。

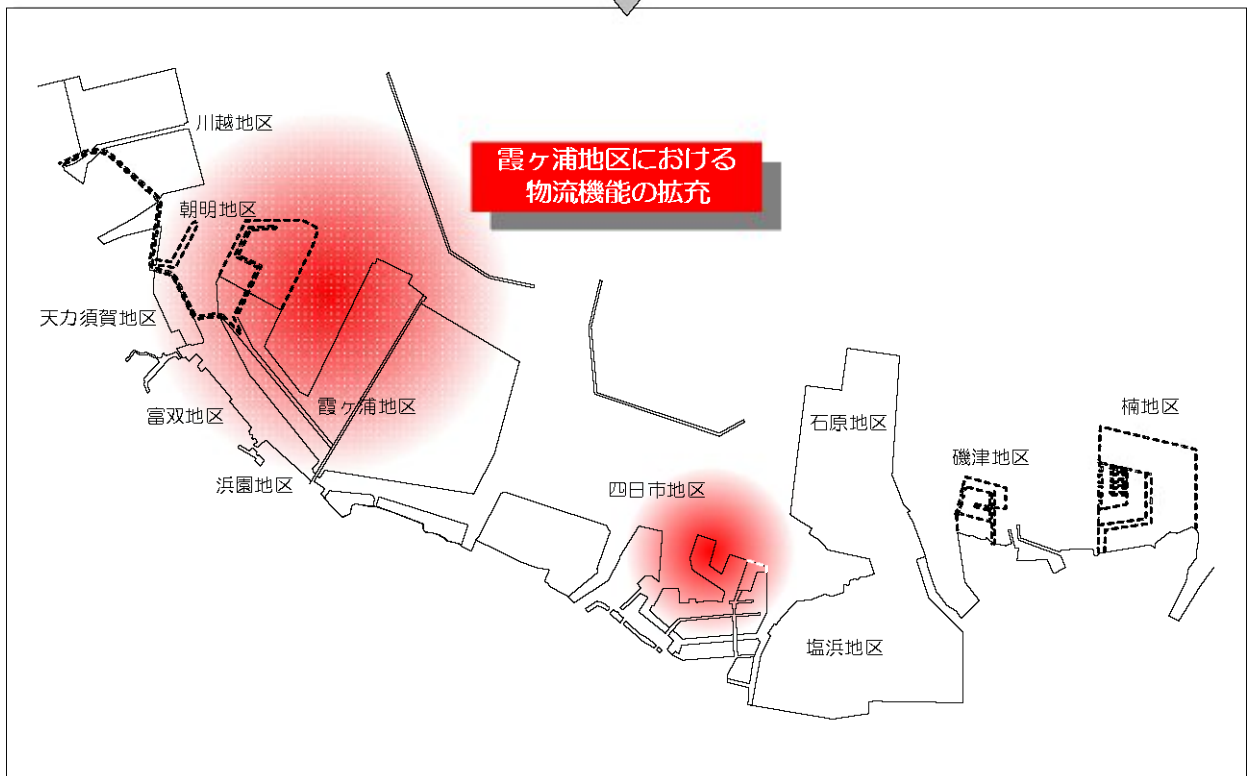
そのためには、機能の混在や危険事象が発現することがないように、ゾーニング、エリア分けの考え方を基本とし、その取組を進めることが大切です。

そこで、将来像実現のための臨海部の空間利用の考え方を、「物流」、「産業」、「交流」、「環境」の機能別に整理しました。

物流機能の現況



ゾーニングの考え方



## 【空間利用の考え方】

### 将来的には霞ヶ浦地区の物流機能を拡充していく。

霞ヶ浦地区は、臨港道路霞 4 号幹線の整備推進により今後さらに背後圏からの広域アクセスが向上し、物流拠点としてのポテンシャルが高まる地区です。スーパー中樞港湾としての機能の充実・強化を目指す上で、将来的には霞ヶ浦地区の物流機能の拡充を図ります。

## 【地区別の主な取組】

### 霞ヶ浦地区

#### 四日市港の物流拠点として、機能の充実強化を図る。

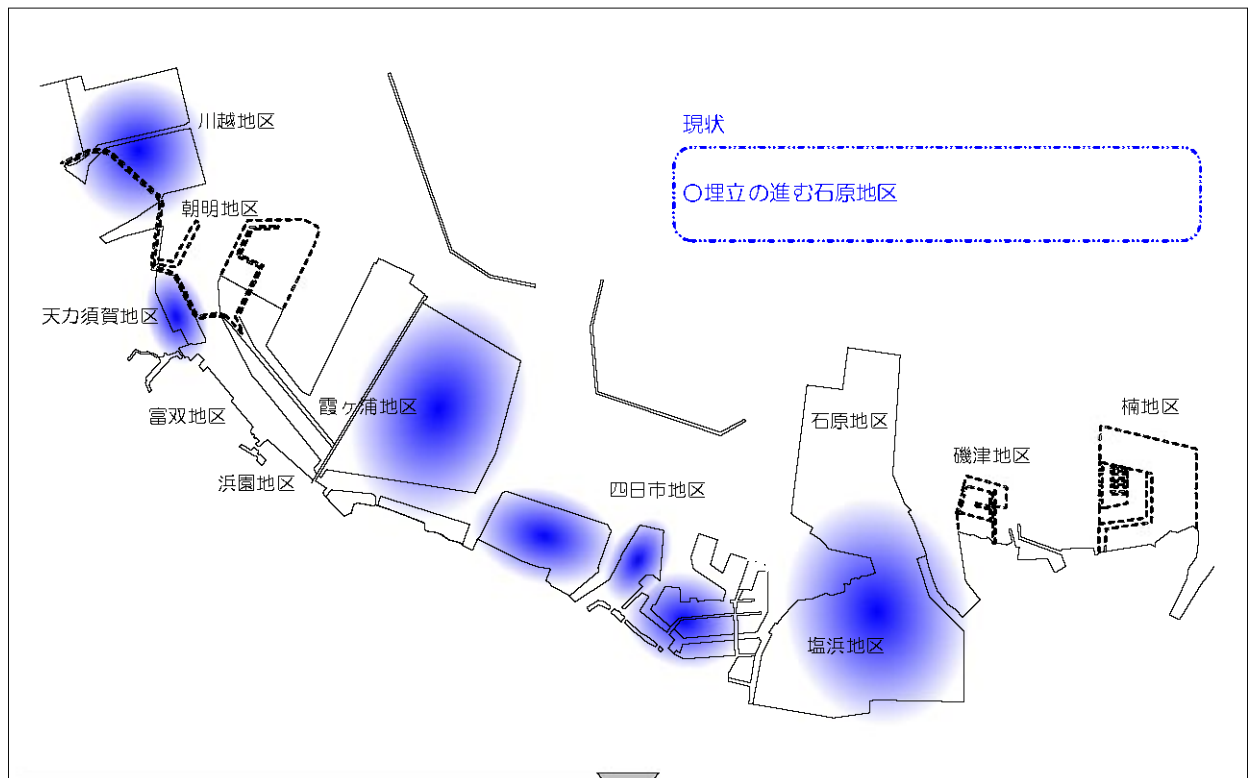
- ・ スーパー中樞港湾としての機能の充実・強化
- ・ アジア域内物流への対応
- ・ バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化
- ・ 企業ニーズに対応した港湾サービスの提供

### 四日市地区

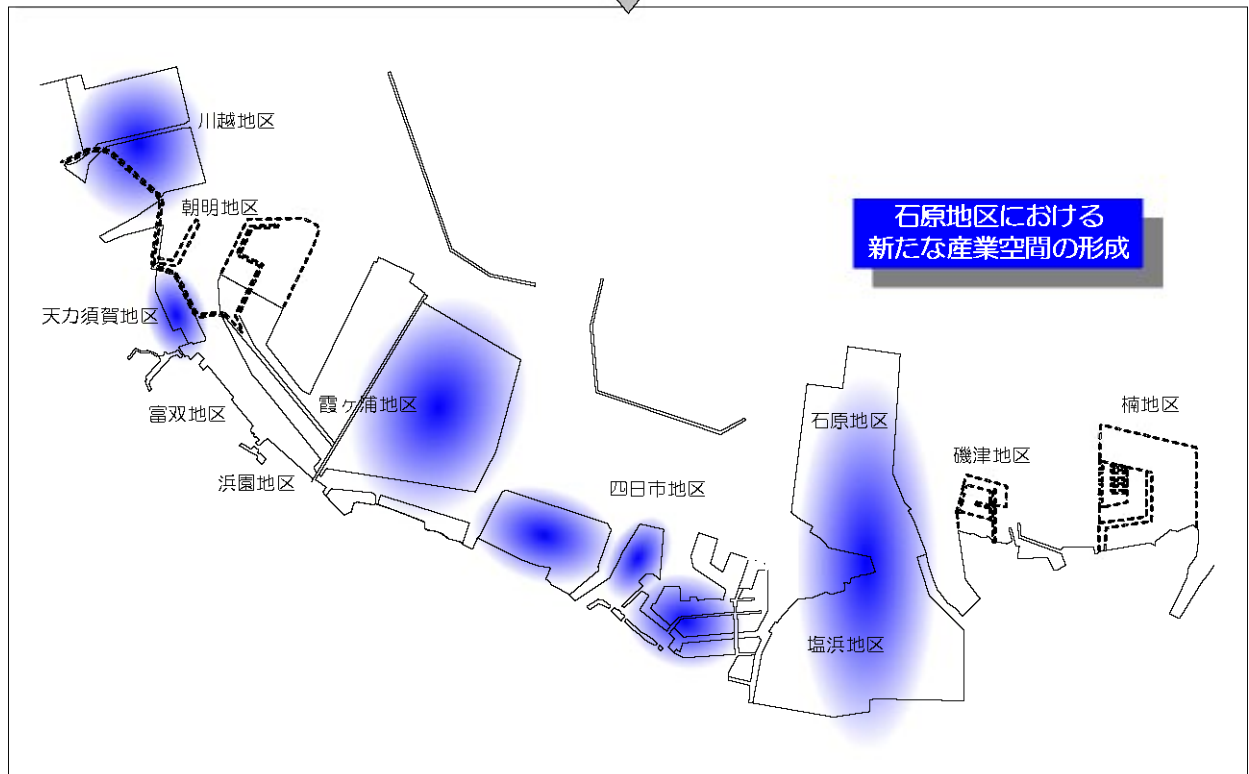
#### 内貿及びバルクを中心に企業ニーズに対応した物流機能を維持する。

- ・ 企業ニーズに対応した港湾サービスの提供
- ・ バルク貨物とエネルギー供給への対応と機能の充実・強化

産業機能の現況



ゾーニングの考え方



### 【空間利用の考え方】

#### 現状の産業用地を維持するとともに、現在埋立が進む石原地区で新たな産業空間を形成する。

現状の産業用地については、将来的にも産業用地として維持するとともに、現在埋立が進む石原地区は、新たな産業空間としての活用を検討していきます。

### 【地区別の主な取組】

#### 既存の産業用地

##### 産業の維持・高度化への取組を支援する。

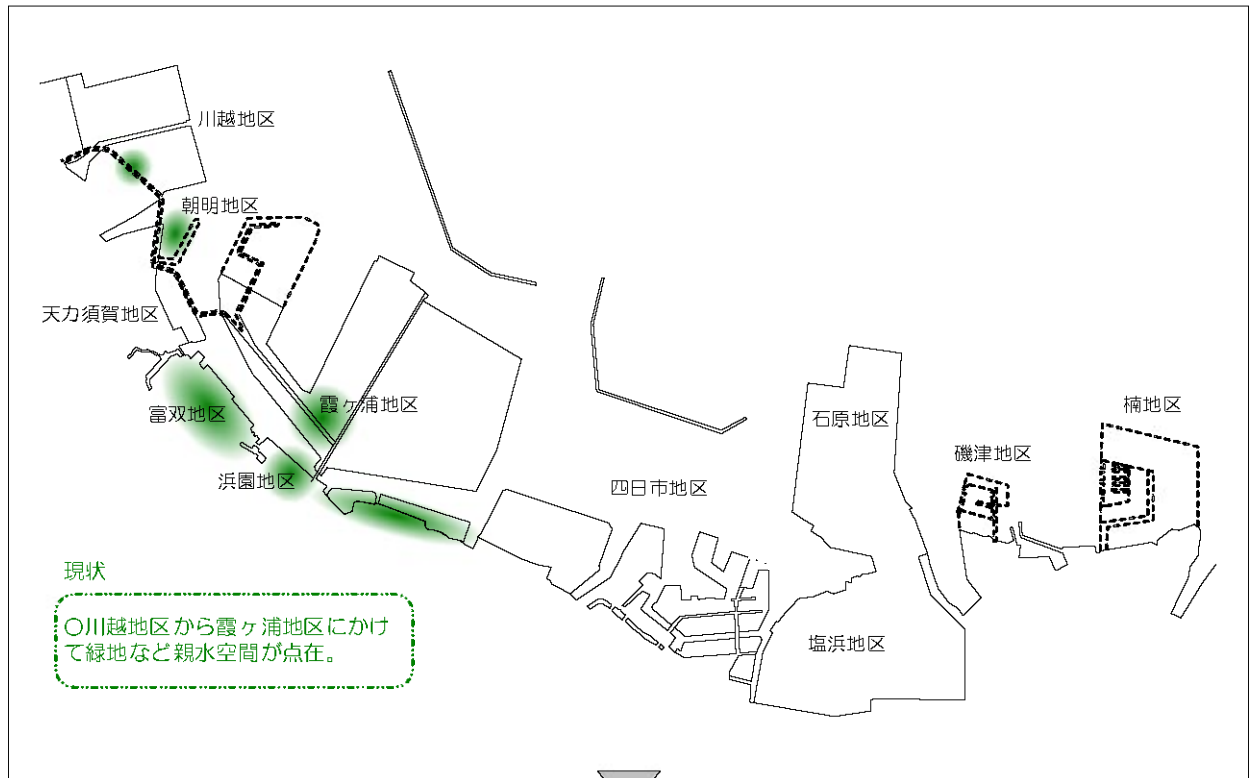
- ・ 四日市コンビナートの高度化への取組を支援

#### 石原地区

##### 新産業空間として活用する。

- ・ 背後圏産業の成長を支援するための産業空間として活用
- ・ 将来的なリサイクル産業等の立地可能性の検討

### 交流機能の現況



### ゾーニングの考え方



## 【空間利用の考え方】

**現況で点在する親水空間のネットワーク化を図るとともに、四日市地区ではみなと文化や景観を活かした交流空間を形成する。**

川越地区から霞ヶ浦地区にかけては、水際線沿いに高松干潟、富双緑地、霞ヶ浦緑地など、親水空間が点在しています。これらを、相互に連続性を持たせ、ネットワーク化することにより、水際線の空間全体としての魅力を向上させます。

また、四日市地区においては、みなとの文化や景観を活かした交流空間の形成を図ります。

## 【地区別の主な取組】

### 川越地区～霞ヶ浦地区

**親水空間のネットワーク化により空間としての魅力を向上させる。**

- ・ 人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進

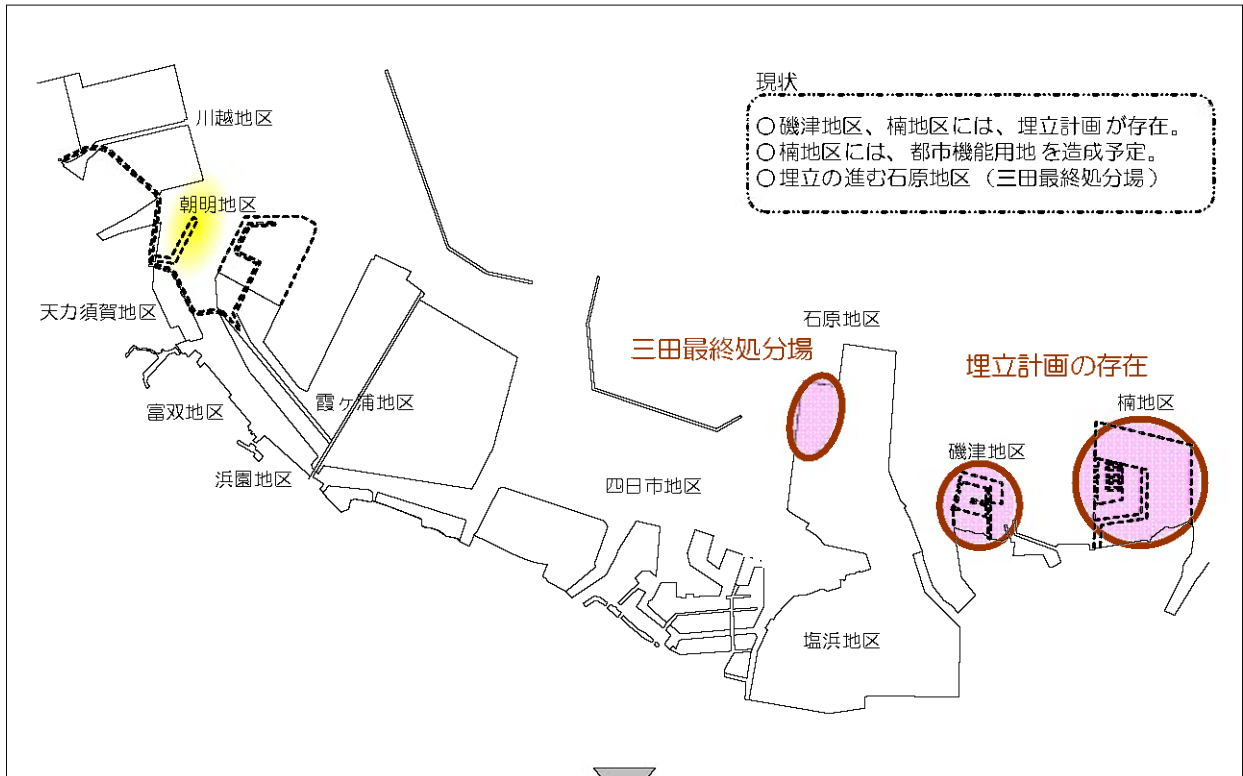
### 四日市地区

**みなとの文化や景観を活かした交流空間を形成する。**

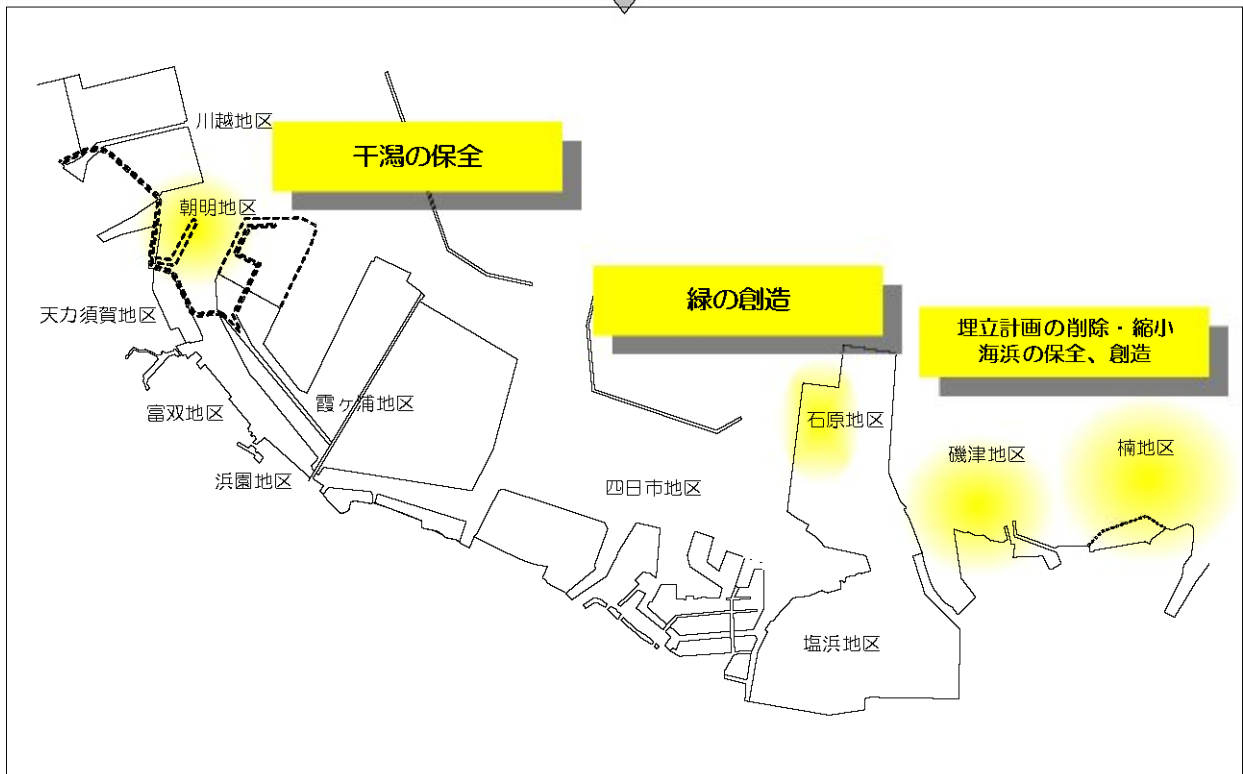
- ・ 人に親しまれるアメニティ豊かな港づくりの推進
- ・ 四日市市と連携した「みなとまちづくり」の推進
- ・ 参画と協働による「みなとまちづくり」の推進



環境機能の現況



ゾーニングの考え方



## 【空間利用の考え方】

### 現況における環境空間を保全するとともに石原地区において新たな環境空間を創造する。

楠・磯津地区に残る自然海浜、朝明地区における干潟は、次世代に継承すべく保全していきます。また、石原地区の一部では、新たな環境空間の形成を図ります。

## 【地区別の主な取組】

### **朝明地区**

#### 貴重な干潟を保全する。

- ・ 自然干潟の保全

### **石原地区**

#### 新たな環境空間を創造する。

- ・ 緑の創造

### **四日市地区**

#### 貴重な港湾景観を保全する。

- ・ 良好な港湾空間の保全・創出

### **楠・磯津地区**

#### 貴重な自然海浜を保全する。

- ・ 自然海浜の保全（埋立計画は削除・縮小）

四日市港の将来像の実現に向けた空間利用ゾーニングは、これまで検討した機能別のゾーニングを多層的に重ね合わせたものとなります。また、それぞれの将来像実現に向けた取組は、港湾空間の中で相互に関わりを持ちながら展開されることとなります。このため、その空間で代表される取組を踏まえ、空間利用ゾーニングとして表現しました。

